

2021年3月15日
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Fukuoka Branch

九州・沖縄の金融経済概況

(2021年3月)

当資料は当店ホームページに掲載しています <https://www3.boj.or.jp/fukuoka/>

<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行福岡支店営業課 Tel : 092-725-5513



1. 総論

○ 九州・沖縄の景気は、厳しい状態にあるものの、持ち直しつつある。

最終需要の動向をみると、個人消費は、持ち直しの動きが一服している。公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、減少している。住宅投資は、弱い動きとなっている。輸出は、増加している。

こうした中で、生産は、持ち直している。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の動向が当地の企業や家計のマインドに与える影響等に留意する必要がある。

<景気判断の前回との比較>

項目	基調判断		
	前回	今回	
景気全体	厳しい状態にあるものの、持ち直しつつある。	厳しい状態にあるものの、持ち直しつつある。	
需要項目	個人消費	持ち直しの動きが一服している。	持ち直しの動きが一服している。
	住宅投資	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。
	公共投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。
	設備投資	減少している。	減少している。
	輸出	増加している。	増加している。
生産	持ち直している。	持ち直している。	
雇用・所得	労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。	労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。	

2. 個人消費

- 個人消費は、持ち直しの動きが一服している。

▽個人消費関連の動向

非耐久消費財	百貨店売上高	弱めの動きとなっている。
	スーパー売上高	持ち直している。
	コンビニエンスストア売上高	持ち直しつつある。
耐久消費財	家電販売	増加している。
	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)	持ち直している。
サービス	旅行・観光	当地発の旅行取扱額は、海外向けは大幅に減少した状況が続いているほか、国内向けも大幅に減少している。この間、観光面も、厳しい状況が続いている。

3. 住宅投資

- 住宅投資は、弱い動きとなっている。

1月の新設住宅着工戸数は、貸家の減少を主因に前年を下回った。

4. 公共投資

- 公共投資は、高水準で推移している。

1月の公共工事請負金額は、県発注分の減少を主因に前年を下回った。

5. 設備投資

- 設備投資は、減少している。

1月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方3か月移動平均）は、前年を上回った。

6. 輸出

- 輸出は、増加している。
1月の輸出額（九州経済圏）は、前年を上回った。

7. 生産

- 生産（鉱工業生産）は、持ち直している。

▽主要業種の生産動向

輸 送 機 械	自動車は、高水準で推移している。船舶は、受注残の減少により、生産水準が低位で推移している。
電子部品・デバイス	増加している。
汎用・生産用 ・業務用機械	半導体関連向けを中心に持ち直している。
化 学	設備トラブルの影響などから一頃よりも低めの水準で推移している。
鉄鋼・非鉄金属	持ち直している。
食 料 品	弱含んで推移している。

8. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。
労働需給をみると、有効求人倍率は横ばい圏内で推移している。
12月の雇用者所得総額は、現金給与総額の増加を主因に前年を上回った。

9. 物価

- 1月の消費者物価（九州地区、生鮮食品を除く総合）は、前年を下回った（1月：▲0.3%）。

10. 金融

- 1月の預金残高をみると、法人預金や個人預金を中心に前年を上回った。
- 1月の貸出残高をみると、法人向けや個人向けを中心に前年を上回った。
- 2月の企業倒産をみると、件数・負債総額ともに前年を下回った。

以 上